



# まちのわだい

町内の主なできごとと、頑張っているみなさんの姿をお伝えします！



9/8 飯田町長 北垣 雅之 支店長

## 道路管理・防災に関する協定締結 連携体制を強固なものに

東日本電信電話株式会社 (NTT東日本) 北海道東支店と、「道路管理関連業務の高度化に向けた共同検討に関する連携協定」「大規模災害時における相互協力に関する基本協定」の2つの協定を締結しました。  
道路管理については、全道初となる道路占用許可申請のオンライン化をはじめ、今は人の力でやっている道路の破損箇所の把握のデジタル化など、業務の高度化に向けて共同で検討していきます。



9/4 「給水所を設置してペットボトルの使用量を削減」「ゴミ袋を紙にしてプラスチックごみの排出量を削減」など、たくさんのアイデアが出ました。

## ゼロカーボン勉強会 町長になったつもりで考えよう

幕別町は現在、ゼロカーボン幕別の実現に向けて取り組み計画を策定中で、この計画にこれからの時代の主役になる子どもたちの意見も反映させられるよう、小中学校で「ゼロカーボン勉強会」を行っています。  
第1回は幕別中学校で実施。3年生は防災環境課の職員から講義を受けたあと、町長になったつもりで二酸化炭素を減らす施策を考えて発表しました。

ゼロカーボンとは？ 15ページ「環境ナビ」へ！



8/23 忠類保育所

## 今年も豊作！収穫祭

忠類保育所の園庭で育ててきた野菜を収穫しました。子どもたちは、土の中からゴロゴロと出てくるジャガイモに興奮しながら、小さな手で1個ずつ丁寧にバケツに集めました。  
今年も豊作で、子どもたちはミニトマトやピーマンも笑顔で収穫し、野菜がどのように作られているのか学びました。



8/18 忠類中学校 生徒考案 オリジナル キャラクター

## 新しいゆり根キャラクターお披露目！

忠類中学校の生徒が忠類農業協同組合の職員からゆり根について学び、新しく考えたゆり根キャラクターが完成しました。キャラクターは忠類地域で実施した「ゆり根キャラ総選挙」で選出。  
3年生は修学旅行で訪れた札幌駅でキャラクターが掲載されたパンフレットを配り、忠類産ゆり根を宣伝しました。



9/11 企業版ふるさと納税 感謝状贈呈式

## 企業版ふるさと納税 北王コンサルタントに感謝状

総合建設コンサルタントとして事業を展開する北王コンサルタント株式会社(帯広市)から、企業版ふるさと納税として200万円の寄附金を頂きました。  
同社は昭和42年創業。石川健司代表取締役は「創業地の幕別は大切な場所。会社を継続してこられたお礼も兼ねて、ふるさと納税させていただきます」と話しました。今回の寄附金は「ふるさとづくり支援事業」「観光物産振興事業」に活用させていただきます。



9/11 鳴海 稔子さん(大正12年9月11日生まれ)

## 100歳おめでとうございます！

100歳を迎えた鳴海稔子さんに幕別町から記念品などが贈られました。この日、ご家族と一緒に歩いて役場までお越しになった鳴海さん。歌が何よりも大好きで、毎日大きな声で歌っているそうです。  
記念の手形を取ったあと飯田町長と笑顔で話が弾みましたが、「100歳を迎えられて、感謝感謝で涙が出ます」と目を潤ませる瞬間も、これからもお元気でいてくださいね。



8/29 幕別陸上少年団

## 全道大会での健闘を報告

7月17日に苫小牧市で開催された陸上大会に出場した幕別陸上少年団の3人が、教育委員会を訪れました。  
▶谷山 心緒さん(主将)(女子走り幅跳び6位) 自己新記録ではなかったけれど入賞できてよかった。  
▶茂木 麗奈さん(女子走り高跳び1位) 練習ではもう少し跳べる日もあったので少し悔しかった。  
▶松田 壮一朗さん(男子走り高跳び3位) 結果と順位は悔しかったけれど中学の背面跳びでは頑張りたい。



8/27 イチャルパ

## 心を込めて祈りをささぐ

幕別アイヌ協会が町内2カ所の共同墓地慰霊祭「イチャルパ」を行いました。毎年、明野と稲志別の共同墓地で交互に開催され、今年は明野の共同墓地での開催でした。  
参加者は民族衣装をまとうて祭壇の前に供物をささげたあと、帯広カムイトウポポ保存会による伝統舞踊と歌を奉納しました。





▶地球を守る。未来を守る。そのために今できることを。

# 環境ナビ

防災環境課  
地域環境係  
(☎54-6601)

## 【特集】地球温暖化について考える(2/5回)

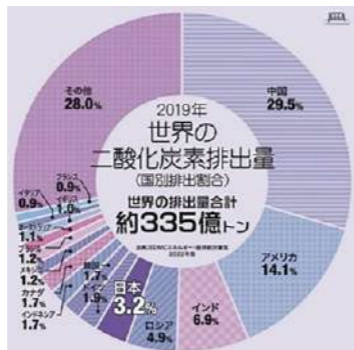
9月号では、温室効果ガスが地球温暖化を引き起こして、このままでは恐ろしい未来がやってくるかもしれないことをお伝えしました。温室効果ガスの主たるものは二酸化炭素であり、今回は二酸化炭素排出量や、将来目標とする「ゼロカーボン」について紹介します。

### ◆二酸化炭素排出量(2019年度)

2019年度では、世界中で約335億トンもの二酸化炭素が排出され、このうち日本では3.2%に当たる約11億8000万トンが排出されています。

二酸化炭素の排出量は、生産量や燃料の使用量などの活動量に、排出係数を乗じて算出します。

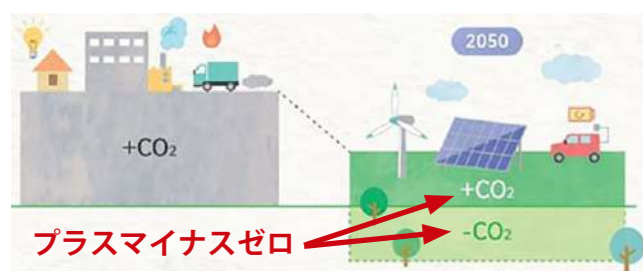
排出係数は、国が実態に合わせて毎年定めています。



	2019年度CO <sub>2</sub> 排出量
世界	約335億トン
日本	約11億8000万トン
北海道	5002万トン
幕別町	22万9000トン

(上表の北海道・幕別町) 自治体排出カルテ(環境省)より(左図) 全国地球温暖化防止活動推進センターより

### ◆目指す姿「ゼロカーボン」とは



現在、地球上では主に化石燃料からエネルギーを得ていて、その過程で、たくさんの二酸化炭素を排出しています。

その排出量を減らし、森林などの吸収量と同じ量になれば、実質的な排出量はゼロとなります。これを「ゼロカーボン」といいます。また、「ゼロカーボン」は「カーボンニュートラル」ともいわれます。

これ以上二酸化炭素が増えない、世界が目指す姿です。

### ◆北海道ゼロチャレ! 家計簿(家庭のCO<sub>2</sub>排出量見える化アプリ)の活用

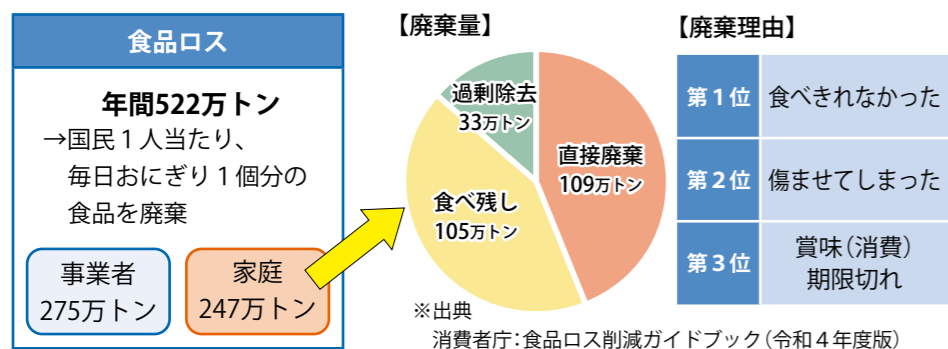
北海道では、7月28日から「北海道ゼロチャレ! 家計簿」を公開しました。毎月の電気やガスなどの使用量と料金を入力すると、排出量の前年や前月比の増減、類似世帯との比較や市町村別の削減状況などが分かります。

自分の家庭からどれだけ二酸化炭素が出ているのかが数字で分かるので、頑張っ取り組んだ省エネの成果も実感することができます。ぜひ、ご活用ください。



### ◆10月は食品ロス削減月間 ~ゼロカーボンにも繋がるごみの減量~

食品ロスとは、まだ食べられるにもかかわらず、捨てられてしまう食品のことをいいます。「食品ロスの削減の推進に関する法律」(食品ロス削減推進法)が令和元年5月31日に公布され、その中で特に、10月30日を「食品ロス削減の日」としています。食品ロス削減について、今一度、家庭の状況を見直してみませんか?



食品ロスを減らすコツ  
・買いすぎない  
・作り過ぎない  
・食べ残さない

※コンポストを使用せず、庭先に生ごみを埋めるのはやめましょう。⇒カラス被害の原因となり、役場に相談が寄せられています。

11月号へ続く

## テーマ 地震に備える①

# 幕別町に被害を及ぼす地震について知ろう!

防災環境課  
防災危機管理係  
(☎54-6601)



政府の特別機関である地震調査研究推進本部がまとめた、今後の地震発生確率によると、私たちの住む幕別町にも大きな地震の発生が迫ってきていることが分かります。どのような地震が発生するのかわかり、事前に必要な準備をしておきましょう。

## 大きな地震の発生確率は?

地震調査研究推進本部では、令和3年3月に「全国地震動予測地図2020年版」を公表しました。これは、現時点で考慮し得るすべての地震の位置・規模・確率に基づき、各地点がどの程度の確率でどの程度揺れるかを示したものです。

全国地震動予測地図2020年版によると、近隣の帯広市では、**今後30年間に震度6弱以上の地震が発生する確率は23%(2018年版比1ポイント増)**とされています。特に、千島海溝沿いの巨大地震の発生確率が上昇してきていて、十勝地方を含む道東地区全体で巨大地震の発生確率は近年上昇傾向にあります。幕別町でも、いつ大きな地震が発生しても不思議ではない状況です。

## 幕別町に大きな影響を及ぼす可能性がある地震は?

海溝型地震(千島海溝沿いの地震)

- 【超巨大地震(17世紀型)】
  - ・マグニチュード8.8程度以上
  - ・今後30年以内の発生確率7~40%

- 【十勝沖地震】
  - ・マグニチュード8.0~8.6程度
  - ・今後30年以内の発生確率10%程度

内陸型地震

- 【十勝平野断層帯(主部)】
  - ・マグニチュード8.0程度以上
  - ・今後30年以内の発生確率0.1~0.2%



<参考>地震の規模を示す「マグニチュード」  
・東日本大震災(平成23年) マグニチュード9.0 (日本の観測史上最大規模) 最大震度7  
・胆振東部地震(平成30年) マグニチュード6.7 最大震度7

## 地震に備えて準備をしましょう

大きな地震はいつ発生するか分かりません。今後30年の発生確率が1%だとしても、その地震が明日発生する可能性もあります。いつ地震が来たとしても慌てずに対応できるよう、事前にしっかりと備えておきましょう。

### 【事前に備えてください】

- 水・食料などの備蓄品(最低3日分、推奨1週間分)
- 部屋のレイアウトの見直しや家具の転倒防止対策
- 地震発生時の行動を事前に決めておく(避難方法や家族同士の連絡方法など)
- 地震発生時の情報収集方法について確認(防災行政無線、テレビ、インターネットなど)

重要 11月2日(土) 午前10時頃 緊急地震速報の配信訓練

防災行政無線の戸別受信機から訓練放送が流れます。詳細は16ページをご覧ください。

